

## 【国際第3委員会のミッション】

中国、韓国、台湾についての

- ⊕ 特許制度の調査研究
- ⊕ 判例研究
- ⊕ 知財戦略、知財活用の実態調査

## 【活動方針】

- ⊕ まずは、楽しく活動しよう！
- ⊕ “日本企業”としてだけでなく各国の “一出願人”という立場で検討する
- ⊕ JIPA内外の他組織とも積極的に交流！
- ⊕ 調査成果の積極的な意見発信

## 活動内容と方針



委員数38名 委員長：岡本（新日鉄住金ソリューションズ）

## ＜中国の権利取得に関する調査研究＞ 第1小委員会

### ＜中韓台における面接審査について＞ 第1WG

#### ＜目的＞

中国、韓国、台湾で権利化する際、「面接審査」の有効性を解析する！

#### ＜背景＞

- ・審査官と直接顔を合わせる面接は、中国では受け入れられにくいという噂を聞く
- ・実際、面接はどの程度受け入れられて、どの程度有益なのだろうか
- ・中国、韓国、台湾で、どのような違いがあるだろうか

#### ＜研究方法＞

会員企業へのアンケート、現地代理人へのヒアリング

面接が受け入れられるコツはあるかな…？



メンバー：榊原（トヨタ自動車）、鶴川（セイコーエプソン）、長谷川（日鉄住金総研）、堀（ブリヂストン）、山田（島津製作所）、姫野（三菱重工業）、山本（旭硝子）、中谷（日本電気）

### ＜「中国における特許権取得の留意点」の改訂＞ 第2WG

★第3版（2011.10発行）後の実施細則や審査指南改正への対応

- ・具体的にはP P H制度、実用新案の実体審査等、追加及び修正
- ・専利法第4次改正、職務発明条例についての情報収集
- ・2017年に改訂第4版の完成予定

メンバー：和田（東芝テック）、橋本（富士フイルム）、中（三菱電機）、大峽（東洋紡）

＜権利行使/訴訟に関する調査研究、韓国、台湾に関する調査研究＞ 第2小委員会  
サブテーマ： 資料第380号 「中国専利権行使実務マニュアル」の改訂

■背景・狙い

前マニュアル発行（2009年7月）以降の司法解釈や侵害訴訟の実態を反映させた最新の実務書を作成する

■研究の進め方

(1) 今年度と来年度の更新対象項目の選別

(2) 更新対象項目の調査研究

⇒司法解釈、専利権侵害判定指南、重要判例、及び現地代理人へのヒアリング等を反映させる。また、日中韓台の制度の比較についても記載する。

(3) 更新対象項目のまとめ

⇒原告被告それぞれの立場で、各段階に必要な情報を提供する。



■アウトプット

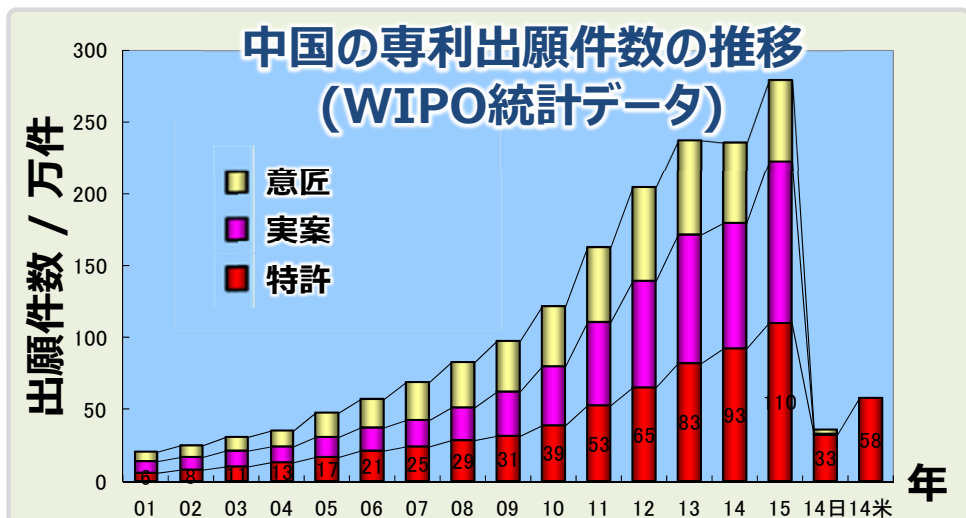
中国専利侵害訴訟実務マニュアル（第2版）発行（2018年7月頃予定）

メンバー：臼井(フジクラ)、山下(キヤノン)、大谷(沖電気工業)、大和田(富士通)、高橋(リコー)、堤(豊田自動織機)、伏見(ADEKA)、米虫(カネカ)、栗田(三菱日立パワーシステムズ)、舟津(大日本印刷)、丸山(ソニー)、渡辺(SCREENホールディングス)

＜中国の知財戦略等に関する調査研究＞ 第3小委員会

背景：国を挙げての知財戦略

中国政府は、自主创新(2006年～)、走出去(2009年～)といった知財戦略を実施してきたが、近年の専利出願件数の急増に伴い、量から質への知財戦略の転換(2013年～)を新たに打ち出してきた。



調査研究概要：中国国策による影響把握

A/B2チームでの検討を行い、調査研究の成果は、知財管理誌(CD-ROM含む)への投稿を予定しています！

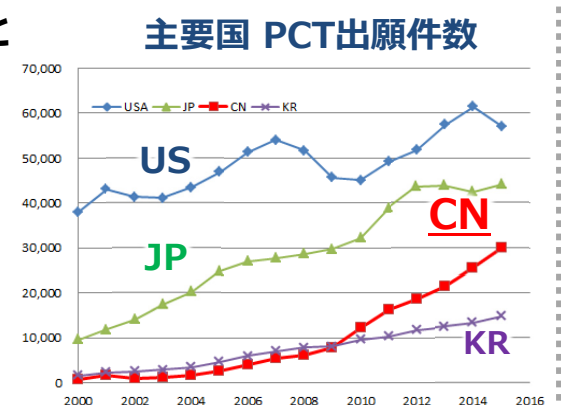
Aチーム：傳(三菱マテリアル)、相澤(三菱製紙)、関(ジヤト)、藪田(クレ)、山口(日本たばこ産業)、中橋(パナソニック)

Bチーム：弓場(TDK)、岩本(第一三共)、篠田(JSR)、張(武田薬品工業)、中目(YKK)、水野(日立製作所)、藤津(本田技研工業)

Aチーム

中国専利出願戦略の調査研究:量から質への転換

- 中国専利出願の現状と課題の概観、量から質に転換させる中国政府の知財戦略及びその影響の考察。
- 日本企業が採るべき中国での知財対策及び留意点の提案。



Bチーム

中国国策と企業の出願/権利化戦略の調査研究

国内外出願推移・権利化・登録維持などの傾向を複数業界の企業ごとに調査し、中国国策との関連性を探る。

